



能登半島地震後の石川県で災害リハビリテーション支援を行いました

医学部 教授 馬庭 壯吉

令和6年1月1日に発生した能登半島地震への災害リハビリテーション支援を行うために、一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）から島根JRATに派遣要請があり、同年2月に2チーム（4名）を派遣しました。島根大学医学部附属病院リハビリテーション部からは作業療法士1名と言語聴覚士1名が参加しました。

1.5次避難所において、生活不活発病や災害関連死の予防を目的として、避難者の身体機能評価、ダンボールベッド・仮設トイレなどの環境調整を行いました。

これらの活動に対して、同年7月24日に厚生労働省から島根JRATと島根大学医学部附属病院に感謝状が贈られました。

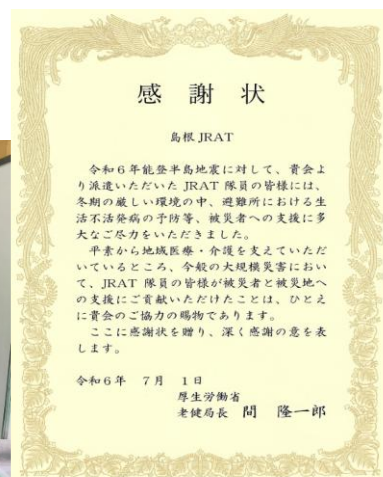
島根県内外での災害に備えた災害リハビリテーション支援体制の構築を進めて参ります。



1.5次避難所



JRATメンバーのミーティング



厚労省からの感謝状